

セブンパーク天美

環境に配慮したエンターテイメント型商業施設

建物概要

- 所在地：大阪府松原市天美東3丁目500番
- 建築主：芙蓉総合リース株式会社
株式会社セブン&アイ・クリエイティブ
- 設計者：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所
- 用途：物販店舗・飲食店舗・映画館・駐車場
- 敷地面積：67,212 m²
- 建築面積：26,578 m²
- 延べ面積：119,113 m²
- 構造：鉄骨造
- 階数：地上5階
- CASBEE 評価：S ランク/BEE 値 3.4
- 重点評価：CO₂削減 4.0/みどり・ヒートアイランド対策 3.2/
建物の断熱性能 5.0/設備システム 4.0/
自然エネルギー直接利用 4.0



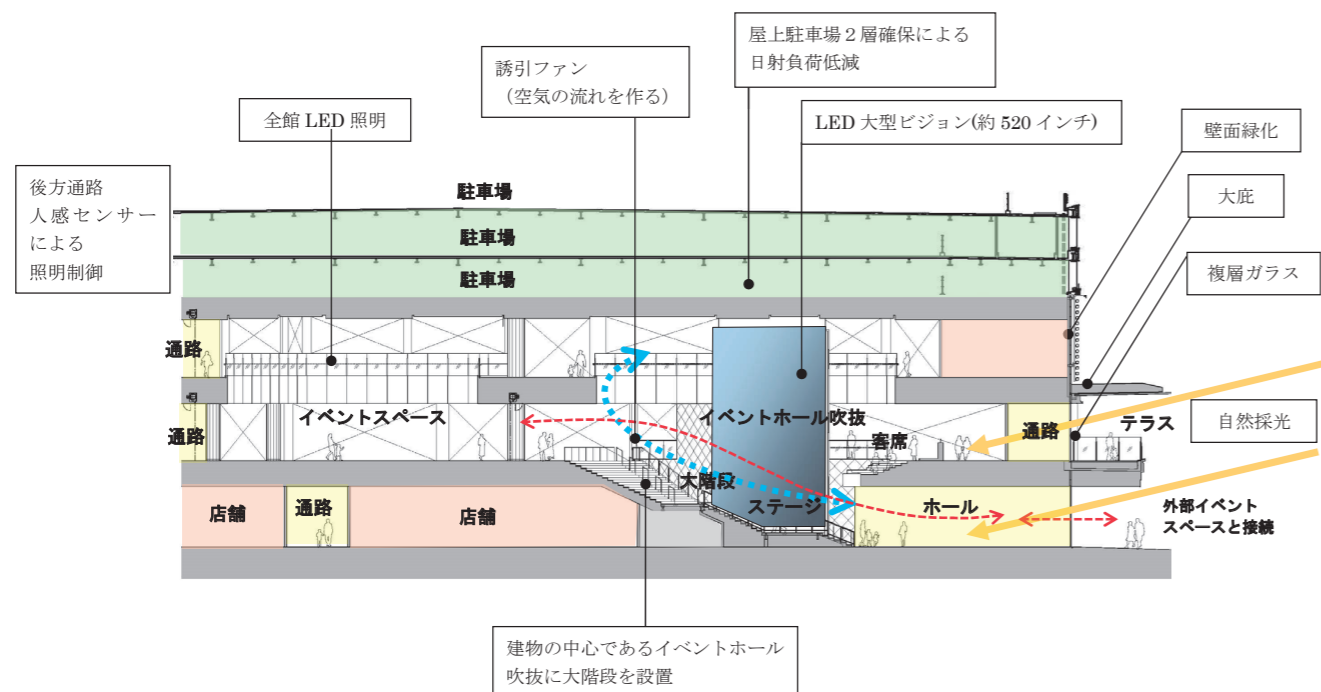
【立地、周辺環境】

計画地は阪神高速大和川線と都市計画道路府道住吉八尾線、および都市計画道路河内長野線に面する交通結節点にあり、広域からのアクセス利便性に優れた地区として土地区画整理が進められてきたエリアにある。

【総合的なコンセプト】

本施設は大阪市のベッドタウンにあり、毎日の生活に欠かせないショッピング施設として更なるサービスの向上と地域活性化の効果をもたらすことを狙いとした。日常生活に充足感をもたらすリアルな体験を提供する施設計画とするため、施設の内外で様々なイベントが行える場所を備え、かつ飲食ゾーンの充実などショッピング以外の体験が可能なエンターテインメント機能を基軸として利用者の生活の充足感を高める施設構成とした。また本施設は「地球環境保全、働きやすさの向上」を目標に、環境に配慮した次世代型大型複合商業施設として計画した。新築建物運用時における環境負荷を最小化させるため、デマンドレスポンス機能による電力負荷平準化、井戸水利用等による電力・上水インフラ低減を図っている。さらに、従来建築設備の領域では対応できなかった生ごみ処理については、国土交通省のサステナブル先導事業の補助金を活用し、建物付帯型のバイオガスシステム（同規模商業施設で国内初）を採用した。

建物断面構成図



環境配慮事項とねらい

■利用者の生活の充足感・健康・快適性を高める

＜イベントホール「AMAMI STADIUM」＞

・建物中央の三層吹抜のイベント空間に設置した大階段は日常的な利用者の主動線であり、時にはイベントの中心の場となる。利用者が大型 LED ビジョン横の大階段を通過することで、舞台上に上がる様な高揚感を感じさせる場とし、利用者の歩行による上下階移動を誘発させることにより、昇降機の利用の低減、及び歩行による健康増進を図る。

＜手描きによる街並みファサード・「Enniichi PARK(緑日パーク)」＞

・西側外壁全面の手描きのレンガ調ペイントを背景に、人の手によって陰翳を付けた巨大な街並みを描き、壁面に建築的装飾物を極力設けず賑わい感のあるファサードを実現。一般的な吹付タイルよりも大気中に拡散される有害物質が少なく、リニューアル時に描き換えも可能。建築ライフサイクルで産業廃棄物削減とCO₂排出低減を図る。

＜人感センサー・調光設備＞

・階段、トイレの照明には人感センサーを採用。従業員ゾーンの照明で外光が入る居室には昼光センサーを活用。3階フードコートでは、スケジュール設定により、夜間は内部の照度を落とす調光制御とした。

＜従業員の働きやすさの向上＞

・働き方に応じフレキシブルに使える「ワーキングスペース」、窓を設け外光が入る「休憩室」、輻射空調を導入した「リラクシングルーム」、歯磨きや着替えを行う「身だしなみ室」など後方ゾーンを充実させた。

■地球環境保全を目標に、省エネルギー性を高めた設備計画

＜バイオガスシステム＞

・1t/日規模の汎用的な建物完結型処理システムを同規模商業施設にて国内で初めて適用。生ごみのリサイクルと省CO₂を経済的に実現する。

＜次世代BEMS＞

・負荷予測と運転最適化を通じ、建物全体のCO₂排出量を最小限に抑える事が可能な「テナント参加型環境マネジメントシステム」を採用。

＜コージェネレーションシステム＞

・高効率なガスエンジン発電機を設置し、自家発電した電気を利用すると共に、エンジンから発生する排熱を空調にも利用する。

＜ナイトパーズ＞

・外気温湿度と室内気温湿度を比較し、ナイトパーズ運転を行う。夜間に冷蓄熱を行い、営業開始時間の立上り時の中央熱源の負荷を軽減する。

＜BELS認証＞

・省エネ配慮技術の取り組みにより「★★★★」を取得。

■環境配慮技術の導入

＜井水利用＞

・井戸水は高度ろ過設備を設置することにより、飲料水、トイレ手洗い、空調冷却塔水として活用。トイレ洗浄水、外構散水設備としても活用。

＜壁面緑化＞

・西側メインエントランス壁面部分に約 92 m²、南側エントランス壁面に約 184 m²の壁面緑化、3階テラスに約 18.5 m²の屋上緑化を採用。

＜緑化駐車場＞

・平面駐車場内に緑化ブロック駐車場を 548 台 (約 3120 m²) 設置。

＜太陽光パネル・風力発電＞

・本体シネマの屋根上に太陽光パネル、外構に太陽光・風力発電付 LED 街灯を設置。合計出力は計 100 kw、内 50kw は BCP 対応として利用。

■BCP対応

＜地域防災拠点の機能強化＞

・発電機とコージェネレーションによる非常時の電源多重化により、一時拠点への電源供給を行い、コンセント・照明・空調・水を確保する。

＜防災トイレツール・かまどベンチ＞

・南側エントランス前の外構に、災害時にトイレになるツール (2 台)、および、災害時に炊き出し用かまどになるツール (1 台) を設置。

■近隣への配慮

＜パーティールーム＞

・3階にテラスと一体となったパーティールームを設置。近隣住民のグループイベント開催の利用等により、地域コミュニティ活性化に寄与。

＜さくらパーク＞

・平面駐車場の中央に、シンボルとなる植栽 (ソメイヨシノ) のある休憩スペースを設け、誰もが利用できる憩いの場所とした。



イベントホール「AMAMI STADIUM」と大階段

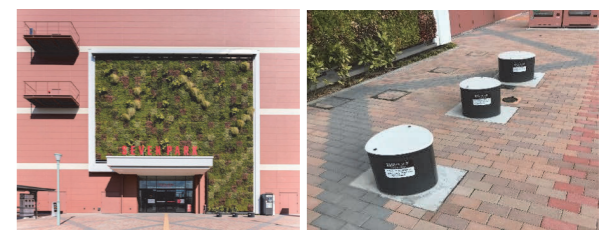


手描きで陰影をつけ街並みを映したファサード(Enniichi PARK)



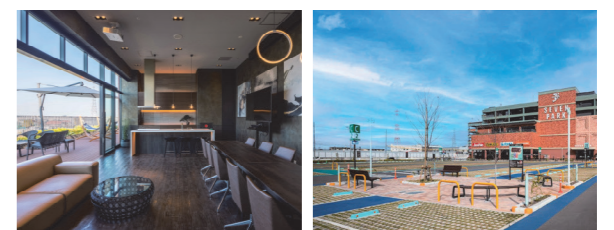
バイオガスシステム

コージェネレーションシステム



壁面緑化(南側)

防災トイレ・かまどベンチ



パーティールームとバルコニー

さくらパーク